

東三河の水辺環境を親子で学ぶ

参加費  
無料!

# 夏休みエコツアー

2026 8.8 (土) 雨天決行



水辺の生きものを探そう! 学ぼう!

豊かな水をたたえる新城市作手地区がフィールド。  
東海地方最大の湿原「長ノ山湿原」と周りの河川で、  
夏の動植物を探します。  
水辺の生きもののつながりについて一緒に学びませんか?

主催 | 愛知県 東三河総局 環境保全課

お問い合わせ | 事務局 グリーンフロント研究所(株) 0564-47-7970



右の2次元コードからお申込みください

2026年7月13日(月)締切

※定員(最大25名)を超えた場合は抽選とし、7月15日(水)までに結果をご連絡します

参加対象者 | 小学生(3年生以上)とその保護者

参加費 | 無料

- ※豊橋駅、東三河総合庁舎、「つくで手づくり村」からのバス移動です。  
(東三河総合庁舎、「つくで手づくり村」指定の箇所に無料で車をお停めいただけます)
- ※集合場所までの交通費はご負担ください。
- ※当日は長袖・長ズボン、長靴、ライフジャケット(貸出有)等の着用をお願いいたします。  
詳しい持ち物や服装、注意事項等は参加者様に別途ご連絡いたします。
- ※お申込み時、道の駅の弁当(1人につき1,000円、当日支払い)を予約できます。  
各自でご用意いただいてもかまいません。



▲お申込みはコチラ

当日のスケジュール

- 8:00 集合 / 8:10 出発 ● 豊橋駅にてバス乗車
- 8:10 集合 / 8:20 出発 ● 東三河総合庁舎にてバス乗車
- 9:10 集合 / 9:20 出発 ● 「つくで手づくり村」にてバス乗車
- 9:50 ▶ 12:00 ● フィールド学習① | 長ノ山湿原
- 12:20 ▶ 13:20 ● 昼食 (@「つくで手作り村」)
- 13:40 ▶ 15:10 ● フィールド学習② | 河川(巴川)
- 15:30 ▶ 16:00 ● まとめ会 (@「つくで手作り村」)
- 17:20 ● 東三河総合庁舎にてバス降車
- 17:30 ● 豊橋駅にてバス降車

～湿原の魅力発見～

長ノ山湿原に生息する生きものを探しながら、湿原の生態系について考えてみましょう。



～河川の生きものを捕まえよう～

網を持って河川に入り、自分で生きものを捕まえて観察しましょう。



※天候によりプログラムに変更が生じる可能性があります。ご了承ください。

フィールド紹介

長ノ山湿原の魅力 |

長ノ山湿原は標高約540mの高地に位置する東海地方最大の湿原です。冷涼かつ雨の多い気候が湿原の泥炭層を発達させており、県内では珍しい泥炭の堆積する湿地で、その中でも「中間湿原」として知られています。各地でなくなりつつある湿原環境が残されていて、国や多くの都道府県がレッドリストに選定しているサギソウ、タガメ、ハッチョウトンボ、ヒメヒカゲなどの希少な動植物が生息・生育しています。湿原全体が愛知県の天然記念物に指定されており、無許可での立入りや動植物の採集等の行為は禁止されています(イベントでは許可を得て湿原内での観察を行います)。



| 長ノ山湿原

巴川の魅力 |

巴川は作手地区の中心を流れる河川です。源流(分水界)は作手地区清岳の水田地帯にありますが、このように平地で分水する場所は全国的にも珍しいです。分水界より南側の水はやがて豊川に、北側の水はやがて矢作川に注ぎます(どちらにも「巴川」と名前がついていますが、相思相愛の男女が親の許しをもらえず泣き分かれたとの悲恋の伝説が残っています)。今回は分水界から約3km下流の矢作川水系の巴川で自然観察を行います。ここにはアブラハヤやヌマガエルをはじめ、多くの生きものが生息しています。



| 巴川